

一般社団法人大阪電業協会 第 49 回安全大会 祝辞

令和 3 年 6 月 30 日
大阪労働局

皆様こんにちは。

只今御紹介いただきました堀でございます。

本日は、「一般社団法人大阪電業協会 第 49 回安全大会」が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃から労働行政の推進、とりわけ労働災害防止や健康確保対策に格別の御協力をいただき、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

また、本日、栄えある表彰を受けられます皆様、誠におめでとうございます。

日頃の労働災害防止への御努力に深く敬意を表する次とともに、今後さらなる取組をご期待申し上げます。

さて、皆様ご存じのように令和 2 年の府内の全産業の労働災害の発生状況ですが、死亡者数は 48 人となり、令和 2 年の目標である、54 人以下とすることができました。特に、建設業で 12 人と令和元年と比べ 8 人減少したことが、全体の死亡者数の減少に繋がったものと考えております。しかし、依然として建設業が死亡災害の 4 分の 1 の割合を占めており、最も多い業種となっております。そして、その中で墜落・転落災害が 3 分の 1 を占めている状況です。

府内の全産業における休業 4 日以上之死傷者数につきましては、8,726 人と 8,092 人以下とするという目標を達成できず、令和元年と比べ、80 名減少の微減となっております。

令和 3 年は全産業において死亡災害は、6 月 30 日の時点で 22 名と昨年より 5 人増加しておりますが、建設業では 3 人の方が被災されており、昨年より 2 人減少しております。死傷災害につきましては、5 月末日の時点で新型コロナウイルス感染事案を含んでおりますが全産業で 3,373 人と 1,008 人増加しており、建設業においても 274 人と昨年の 210 人と比べ 64 人増加し、30.5%増加という非常に厳しい状況となっております。

建設業は社会基盤を整備し、生活の基盤をつくる重要な産業であり、かつ、人々の生活に幸せや夢を与える仕事であると考えております。そのような仕事で尊い命が失われることはあってはならないという気概で大阪労働局、各労働基準監督署において死亡災害撲滅に全力で取り組んでおります。皆様方におかれましても、全力での取り組みお願い申し上げます。

また、大阪労働局では YouTube チャンネルで大阪労働局長のメッセージと建設業に係る労働基準部長のメッセージを動画配信しております。特に今年は、建設工事で亡くなられた方の遺族の方のメッセージを入れております。

是非、現場を施工管理する皆様はもとより、実際に現場で作業されている方々やそのご家族の方々にご視聴いただき、安全な作業の大切さをご家族全体で感じ取っていただきたいと思います。

しっかり、安全に作業を行い、無事にご家庭に帰って行く、このことが、いかに大切なことなのかをご家族全体で考えていただければと思います。このことを感じ取っていただければ、「一寸した作業だからとかあと少しだから」という誘惑に負けて、不安な作業を行うことはなくなるのではないかと考えております。

今年度も第 13 次労働災害防止推進計画の目標を達成するため、現場に潜むリスクを洗い出し、これに基づき設備の改善、作業手順の見直し、安全衛生教育の実施などにより、災害のリスクをなくし、全ての労働者の健康が確保され、安全・安心に働くことができる職場の実現に取り組むため大阪労働局では「リスク“ゼロ”大阪推進運動」を展開しております。特に建設現場においては、「指示された作業を適正に行うだけでなく、自ら考えて行動できる教

育」を推進する「安全 Study 活動」、リスクアセスメントを広く定着させるための「リスク評価推進活動」、二丁掛フルハーネス型安全帯使用の普及促進を図ることを目的とする「命綱GO活動」など5つの活動を実施してまいります。特に、フルハーネス型安全帯を着用しているのに使用しておらず、墜落し、死亡された事案が散見されるところです。必ず、着用するだけでなく、使用することで安全な作業を確保してください。

また、これからの季節は熱中症予防も重要です。特に7月、8月は暑い季節となっており、昨年から新型コロナウイルスによって暑い時期であっても、適切な距離を確保できない場合には作業中にマスクの着用を義務付けられるなど、皆様も大変なご苦労をされていることと存じております。

大阪府内での昨年の熱中症による死亡者数は1人で、休業4日以上死傷者数は49人と毎年のように多数発生しています。この49人のうち7人は直ぐに応急処置をせずに症状が重篤化したことが判明しております。

昨年に引き続き、5月1日から9月30日までを「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」として啓発に取り組んでいます。死亡者ゼロを目指し、異常を認めたときはすぐに救急車を呼ぶなど、「体調が悪いです」と上司に伝えやすい職場環境の実現に向け、周知啓発活動を展開してまいります。

さて、本年も7月1日から同月7日までの期間において、「全国安全週間」が実施されます。

『持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場』

をスローガンとして、その取り組みを行ってまいります。

本日の安全大会並びに全国安全週間を契機に、さらなる安全への取り組みをお願いするとともに、本日御参加の皆様の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。